

# NEWS RELEASE

キヤノン株式会社  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 小規模オフィス向けレーザープリンター「Satera」シリーズ7機種を発売 オフィスや流通・医療業界などにおける大量・高速出力業務の生産性を向上

キヤノンは、レーザープリンター・レーザー複合機「Satera」シリーズの新製品として、A3カラーレーザープリンターのフラッグシップモデル“Satera LBP961Ci”など計7機種を、2021年12月16日に発売します。



Satera LBP961Ci  
\*オプション装着時



Satera LBP722Ci



Satera MF832Cdw



Satera MF656Cdw

新製品は多段給紙や高速印刷を実現し、小規模オフィスのセンターマシンや多店舗展開の窓口、テレワークなどにおける大量・高速出力業務のニーズに応えます。また、認証・留め置き印刷や通信の暗号化、デバイス本体の改ざん検知などのセキュリティの強化とともに、クラウドサービスとの連携により、ユーザーの多様な働き方に応じた印刷・電子化業務の生産性向上に貢献します。

### ■ 豊富な給排紙オプションで大量出力業務を効率化する“LBP961Ci”

A3カラーレーザープリンター“LBP961Ci”は、A4片面で毎分60枚の高速プリントに加え、オプションの給紙カセット<sup>※1</sup>の装着で最大7,250枚の給紙容量を実現しました。流通・小売におけるPOPやチラシ、医療・調剤における薬袋や薬剤情報など、さまざまな業務の大量高速印刷の需要に応えます。

### ■ 高速印刷と多段給紙で出力業務を効率化する“LBP722Ci”・“MF832Cdw”

A4カラーレーザープリンター“LBP722Ci”は、A4片面で毎分38枚、A5片面では毎分59枚の高速印刷を実現しました。また、オプションの給紙カセット<sup>※2</sup>を装着することで最大5種類の用紙をセットでき、プライスカード、薬袋などの出力業務を効率化します。さらに、A4カラーレーザー複合機“MF832Cdw”は高速両面読み取りに対応したADF（自動原稿送り装置）を搭載し、受付などで使用する紙文書の電子化を促進します。

### ■ 定型業務をワンタッチで実行できる“MF656Cdw”

A4カラーレーザー複合機“MF656Cdw”は、病院・調剤薬局などの窓口やテレワークに適したコンパクト設計を実現しています。また、本体パネルで定型業務をワンタッチで実行できる「アプリケーションライブラリ」を搭載し、クラウドスキャンやプリントもボタン1つで実行でき、業務効率が向上します。

製品名	希望小売価格	発売日
LBP961Ci/LBP722Ci/MF832Cdw/MF656Cdw/ MF654Cdw/MF551dw/MF457dw	オープン価格	2021年12月16日

※1 「大容量カセットペディスタル・C1」および「ペーパーデッキユニット・F1」（ともに別売り）が必要。

※2 「ペーパーフィーダー・D1」および「1段カセットユニット・AV1」（ともに別売り）が必要。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

0570-08-0061

● Satera ホームページ : [canon.jp/satera](http://canon.jp/satera)

## <Satera LBP961Ci の主な特長>

### 1. 豊富な給排紙オプションなどで大量連続印刷を効率化

- ・オプションの給紙カセットを装着することにより、最大 7,250 枚の給紙容量を実現。用紙補給の手間が減り、業務効率が向上。流通・小売における POP やチラシ、医療・調剤における薬袋や薬剤情報など、さまざまな業務の大量印刷の需要に対応。
- ・A4 片面で毎分 60 枚、ファーストプリントタイム<sup>※1</sup>5.6 秒（カラー）・3.9 秒（モノクロ）<sup>※2</sup>の高速印刷を実現。クイック起動機能を標準搭載するなど、ウォームアップタイム<sup>※3</sup>・リカバリータイム<sup>※4</sup>も短縮<sup>※5</sup>し、必要な時に素早く印刷することが可能。

※1 プリンターがデータを受信し始めてから 1 枚目の排紙が完了するまでの所要時間。

※2 出力環境によって異なる場合があります。

※3 電源を入れてから印刷可能な状態に移行するまでの所要時間。

※4 スリープ状態から印刷可能な状態に移行するまでの所要時間。

※5 「Satera LBP 9900 シリーズ」（2015 年 5 月発売）との比較。

### 2. セキュリティを網羅的に強化

- ・起動時にプログラム改ざんの有無を検証し、安全性を確認して起動を実行。問題があった場合は起動を停止し、不正プログラムによる被害を未然に防止。未知の攻撃に対して有効性を発揮。
- ・稼働時はファームウェアの改ざんの有無を信頼リストと常に照合。不正な未知のプログラムの起動を抑制。
- ・使用者を特定する認証印刷機能を搭載。放置プリントを抑制し情報漏えいのリスク低減に貢献。
- ・暗号化通信プロトコルの最新バージョン「TLS1.3」に対応。ネットワークセキュリティを強化することで通信パフォーマンスが向上し、需要が高まっているクラウドサービスとの連携をサポート。

### 3. 業種の用途に沿った幅広いメディアに対応

- ・給紙カセットで対応できる用紙の厚さを 256g/m<sup>2</sup> まで拡張<sup>※</sup>したほか、手差しトレイでは 300g/m<sup>2</sup> の用紙まで通紙可能。販促物で使える用紙のカセット給紙や、別プリンターで行っていた印刷業務の集約を実現。
- ・128 g/m<sup>2</sup> の用紙でも毎分 60 枚（A4 片面）の高速印刷を実現。厚紙の高速連続印刷による生産性向上に貢献。
- ・A5/A6 サイズおよび封筒もカセット給紙が可能。領収証などで使われる小サイズ用紙や封筒もカセットから大量印刷でき、印刷業務の手間を削減。
- ・キヤノン製大判プリンター「imagePROGRAF」シリーズで採用されており、簡単に高品位なポスター作成ができる PC 用ソフトウェア「PosterArtist Lite」（無償）に対応。専門知識がなくても POP を簡単に内製化でき、外注コストを削減。

※ 「Satera LBP 9900 シリーズ」（2015 年 5 月発売）との比較。



デザインテンプレート例



ポスター作成画面（イメージ）

## <Satera LBP722Ci/MF832Cdw の主な特長>

### 1. 高速印刷と多段給紙で出力業務を効率化

- ・ A4 片面で毎分 38 枚、A5 片面で毎分 59 枚の高速印刷を実現。プライスカードなどの出力業務を効率化。
- ・ “LBP722Ci” はファーストプリントタイム 6.3 秒 (カラー) / 5.3 秒 (モノクロ) を実現。クイック起動を標準搭載するなど、ウォームアップタイムやリカバリータイムも短縮し、必要な時に素早く印刷することが可能。
- ・ オプションの給紙カセットを装着することで、最大 5 種類の用紙をセット可能。また、領収書などで使用する A6 サイズのカセット給紙もでき、用紙交換の手間を軽減。



Satera MF832Cdw  
\*オプション装着時

### 2. 高速両面読み取りおよび幅広い用紙サイズに対応する ADF を搭載

- ・ “MF832Cdw” に、読み取り速度を「Satera MF740」シリーズ (2019 年 5 月発売) から約 3.7 倍<sup>※1</sup>高速化した ADF を搭載。A4 両面で毎分 100 ページ<sup>※2</sup>の読み取りを実現し、本体の前での待ち時間を大幅に短縮。
- ・ 領収書などで使用する A6 サイズや名刺などの小サイズ用紙にも新たに対応。また、ADF に通紙可能な用紙の坪量が 128g/m<sup>2</sup> まで向上。
- ・ ADF への積載可能枚数も「Satera MF740」シリーズの 2 倍となる 100 枚まで対応。スキャン機能および対応用紙の種類や枚数を拡張し、紙文書の電子化の促進に貢献。

※1 A4 両面原稿読み取り時。

※2 300dpi×300dpi の解像度において。

### 3. 「uniFLOW Online」によるデバイスの一括管理を実現

- ・ クラウド型デバイス機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」(有償) と連携することで、認証によるセキュアな印刷、集計レポート機能などのドキュメント管理機能を強化。多店舗やテレワークなど、離れたオフィスのデバイスも一括でリモート管理が可能。

## <Satera MF656Cdw/MF654Cdw/MF551dw/MF457dw の主な特長>

### 1. 業種に合った機能をワンタッチで実行可能

- ・本体パネルで定型業務をワンタッチで実行できる「アプリケーションライブラリ」を搭載。「定型文書プリント」「固定宛先スキャン」など合計 12 種類のアプリケーションを用意。ホーム画面は業務に応じてカスタマイズすることが可能で、時間短縮や作業精度の向上に貢献。
- ・「定型文書プリント※」は、使用頻度の高い文書フォーマットの画像やファイルをあらかじめ登録しておくことで、PC を使わずにワンタッチで印刷可能。例えば、病院・調剤薬局の受付で問診票のフォーマットを登録しておくことで、必要な時にすぐに出力可能。
- ・「固定宛先スキャン」は、宛先や原稿の読み込み設定をあらかじめ登録しておくことで、ワンタッチでスキャンが可能。保存先やメールアドレス、読み込み設定を都度入力する手間を省略。

※ 登録できるファイル形式は JPEG もしくは PDF のみ。



ホーム画面の「アプリケーションライブラリ」(イメージ)

### 2. 外部クラウドサービスとの連携を強化し紙文書の電子化を促進

- ・クラウドサービスへのスキャンデータ送信およびクラウドサービスからの印刷が可能なボタンを新搭載。ボタン1つで簡単にデータ送信や印刷が可能。
- ・PC向けソフトウェア「MF Scan Utility※」(無償)を使用することで、スキャンした文書データをあらかじめ設定したクラウドサービスに本体操作のみで直接アップロードすることが可能。紙文書の保存や共有を効率化するとともに、書類を持ち出すことによる手間や情報漏えいリスクの低減にも貢献。

※ 登録できるファイル形式は JPEG もしくは PDF のみ。

## <レーザープリンター/レーザー複合機の市場動向>

新型コロナウイルス感染症拡大防止や働き方改革の推進により、メインオフィス以外で勤務するテレワークが多く企業の導入されています。自宅やサテライトオフィスにおけるプリント機会の増加を受け、コンパクトで手軽に使用できるレーザープリンターのニーズが高まっています。これらの需要に対応すべく、本体の小型化・高速化に加え、セキュリティ面の強化やクラウドサービスとの連携強化が進んでいます。

## <主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。